

## カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業企画運営業務 審査評価基準

評価項目		配点	係数	評価点 4~0点
<b>I 提案者の優位性</b>		<b>8</b>		
類似業務に関する実績等	同種又は類似業務に関する実績やノウハウが豊富であるか。	4	1	
本業務に携わる者に関する実績等	氏名、専門分野、実績、業務に関する資格等が明確に示されており、その内容は、本業務の実施に関して、適切であるか。	4	1	
<b>II 業務の実施体制</b>		<b>4</b>		
業務の実施体制及びスケジュール	人員配置、役割分担やスケジュール設定等、本業務に関する運営方法は、適切かつ現実的なものであるか。また、カーボンニュートラルに関して企業が抱える課題や取り巻く環境がそれぞれ異なる中で、多様なノウハウ・経験を持つ専門家を十分配置するなど、実情に応じて柔軟に対応できる実施体制がとられているか。	4	1	
<b>III 具体的な企画内容</b>		<b>84</b>		
<b>i 戦略検討</b>		<b>20</b>		
戦略検討の進め方	サプライチェーン構造化や企業の取組状況把握、支援策検討の方法やプロセスは適切か。 取組の進んでいない企業に対して、裾野を広げる取組への参加を促す工夫はなされているか。	12	3	
<b>ii ワークショップ・勉強会などコミュニティ形成に向けた取組・モデル化創出実証</b>		<b>40</b>		
(ワークショップ・勉強会などコミュニティ形成に向けた取組)				
テーマ設定	3つの視点に関する課題解決につながるテーマ設定となっているか。 視点「CFP算定支援」「企業ブランド向上支援」「地域独自のカーボンニュートラルプロジェクトの創出」 ワークショップなどで設定するテーマの内容・数は、県内企業を取り巻く状況を踏まえたニーズと合っていることが見込まれるものとなっているか。	4	1	
ワークショップ・勉強会の運営方法等	ワークショップなどの開催回数及び実施内容は十分なものであるか。また実施方法は、十分に成果を得られるものであるか。 課題解決に寄与する、新たにカーボンニュートラルに取り組む企業を含む複数の企業の参画が期待できるアプローチ手法となっているか。 今後においてモデルの創出に向けた実証等を行っていく上で、企業が継続的に課題解決に取り組むための工夫は、十分に図られているか。	4	1	
(モデル化創出実証 (先進事例の創出))				
テーマ設定・実証事業の進め方	実証テーマやプロセスは適切であり、サポート内容は、想定される課題・ニーズを踏まえたものとなっているか。	8	2	
成果の水準	成果の水準は高く、実現可能性も踏まえた適切な設定がなされているか。	4	1	
横展開	実証で得た成果を県内企業へ展開する手法は、効果的なものとなっているか。	4	1	
<b>iii ポータルサイト掲載のコンテンツ作成</b>		<b>8</b>		
コンテンツ	ウェブサイトに掲載するコンテンツの更新や拡充の内容は、県内企業のカーボンニュートラル対応への意識を高め、積極的に取組を開始していくよう期待できる提案になっているか。	4	1	
情報の収集・蓄積	ウェブサイトの更新頻度や整備のスケジュールは適切か。また本ウェブサイトの認知度を高める工夫や、県内製造事業者等が主体的かつリアルタイムに情報の入手・活用ができるような工夫は、十分に図られているか。	4	1	
<b>iv 令和9年度以降の運営計画等の策定</b>		<b>16</b>		
検討手法	立案された仮説は、現状を踏まえた問題点、不足している視点やその解決策等について、要因を含めて的確に分析されているか。 仮説検証のプロセスや手法は、国内外の規制動向等も踏まえつつ、企業の抱える課題やニーズ等がうまく反映できるものであり、次年度以降に計画の実行が期待できるものとなっているか。	8	2	
<b>IV 全体設計</b>		<b>4</b>		
予算及び経費内訳	予算額及び経費の内訳に妥当性があるか。	4	1	
<b>合 計</b>		<b>100</b>		
<b>評価4:特に優れている 評価3:優れている 評価2:普通 評価1:劣っている 評価0:特に劣っている</b>				総合点:

※本評価基準における最低基準点は、60点（評価値の100分の60）とする。